

2010年07月05日版
意見照会用

災害リスク情報
メタデータ仕様プロファイル
(事務局原案)

平成22年7月

目次

1 災害リスク情報メタデータプロファイルの概要.....	1
2 UML データモデル.....	3
2-1 メタデータ構成集合情報.....	3
2-2 識別情報.....	4
2-3 データ品質情報.....	5
2-4 参照系情報.....	5
2-5 配布情報.....	5
2-6 範囲情報.....	6
2-7 引用及び責任者情報.....	7
3 データ辞書.....	8
3-1 メタデータ構成集合パッケージ.....	8
3-2 識別情報.....	9
3-3 データ品質情報.....	11
3-4 参照系情報.....	13
3-5 配布情報.....	14
3-6 範囲情報.....	15
3-7 引用及び責任者情報.....	17
3-8 コードリスト及び列挙.....	22
3-8-1 日付型符号 (CI_DateTypeCode).....	22
3-8-2 オンライン機能符号 (CI_OnLineFunctionCode).....	22
3-8-3 役割符号 (CI_RoleCode).....	22
3-8-4 文字集合符号.....	23
3-8-5 空間表現型符号.....	24
3-8-6 主題分類符号.....	25
4 メタデータ実装仕様.....	27

1 災害リスク情報メタデータプロファイルの概要

本メタデータ仕様は、国際規格（IS）、国内規格（JIS）に準拠する JMP2.0（日本版メタデータプロファイル）の中から、災害リスク情報のメタデータ作成に必要となる必要最小限の部分を抽出し体系化したものである。

災害リスク情報の検索・発見の円滑化の観点から、IS19115（JIS X 7115）の附属書 F（参考）メタデータ拡張方法論に基づき、一部のメタデータ項目について拡張している。

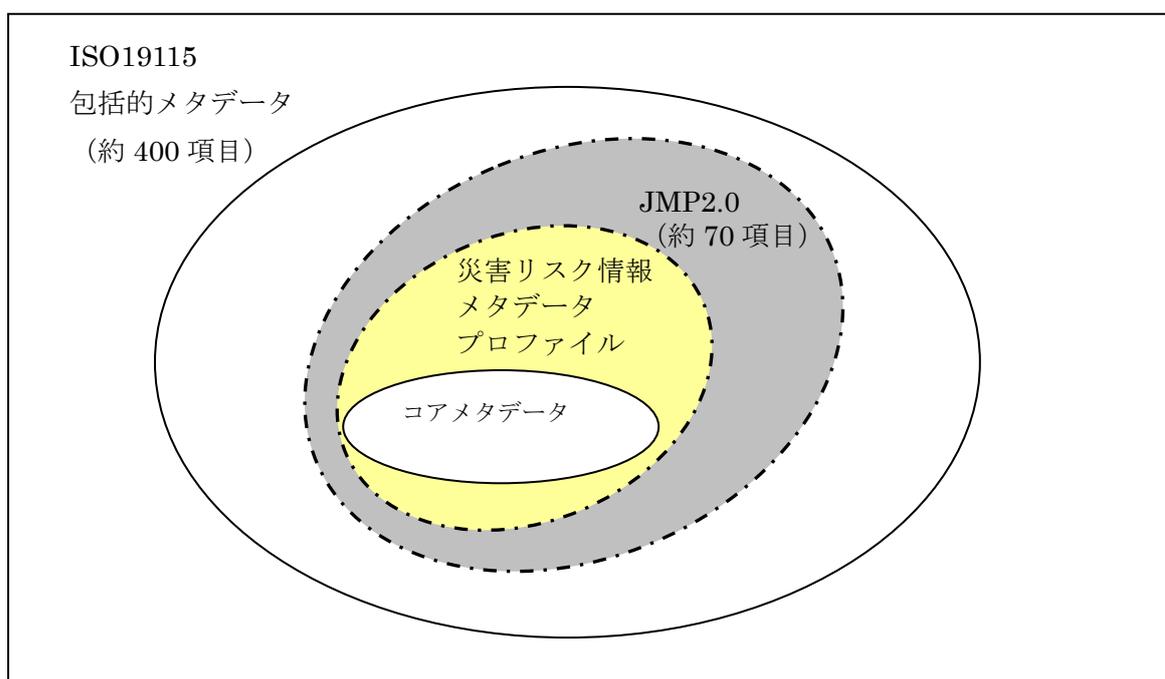


図 1-1 災害リスク情報メタデータプロファイルと既存規格の関係

災害リスク情報メタデータプロファイルで使用するコアメタデータを含むメタデータ項目を表 1-1 に示す。

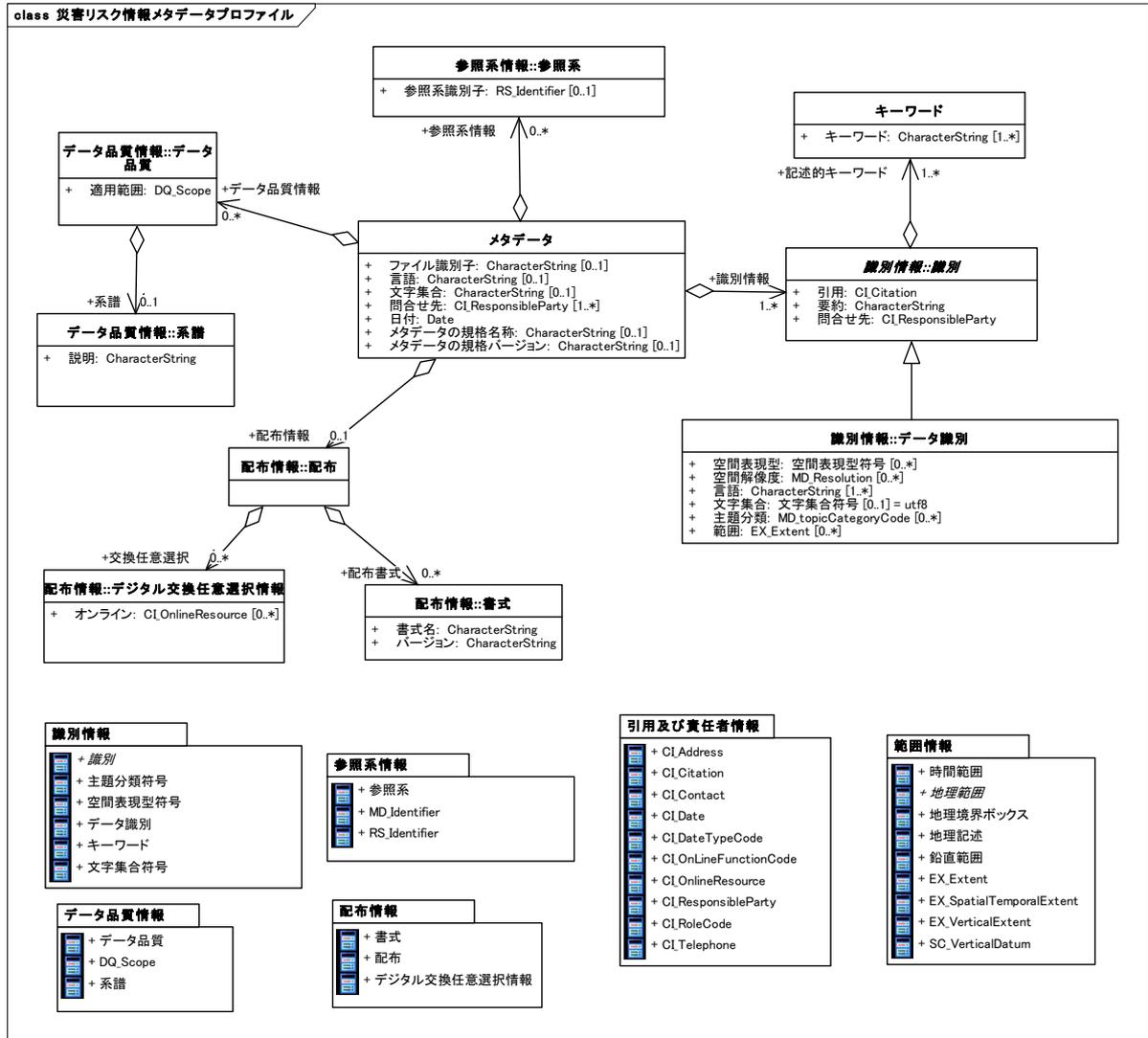
表 1-1 災害リスク情報メタデータ仕様の概要

メタデータ項目の分類	メタデータ項目 (*コアメタデータ)		メタデータ項目の概要
データの識別情報	1	タイトル*	災害リスク情報（データ）の名前
	2	日付*	データの作成又は公表日付
	3	問合せ先*	データの責任者の問合せ先
	4	範囲情報*	データの空間・時間範囲
	5	言語*	データで使用されている言語（例：日本語）
	6	文字コード*	データで使用される文字符号規格（例：utf8）
	7	主題分類*	国際規格が定める主題分類法（例：地球科学の情報）
	8	縮尺*	地図で表示した際の縮尺
	9	要約（データ内容の要約）*	データ内容の要約
	10	空間表現型*	空間表現の方法（例：ベクトル）
	11	キーワード	主題の記述に使用する共通の言葉、公認の言葉、語句など
配布情報	12	書式名*	データフォーマットの名称
	13	オンライン情報*	データの入手先
	14	仕様書	製品仕様書の名称
参照系情報	15	符号*	座標参照系の名前
品質情報	16	系譜*	データの作成過程、元データに関する情報
メタデータの基本情報	17	ファイル識別子*	メタデータのファイル名称
	18	メタデータ規格の名称*	メタデータ仕様の名称
	19	言語*	メタデータで使用されている言語
	20	文字コード*	メタデータで使用されている文字符号規格
	21	問合せ先*	メタデータの責任者の問合せ先
	22	日付*	メタデータの作成日付

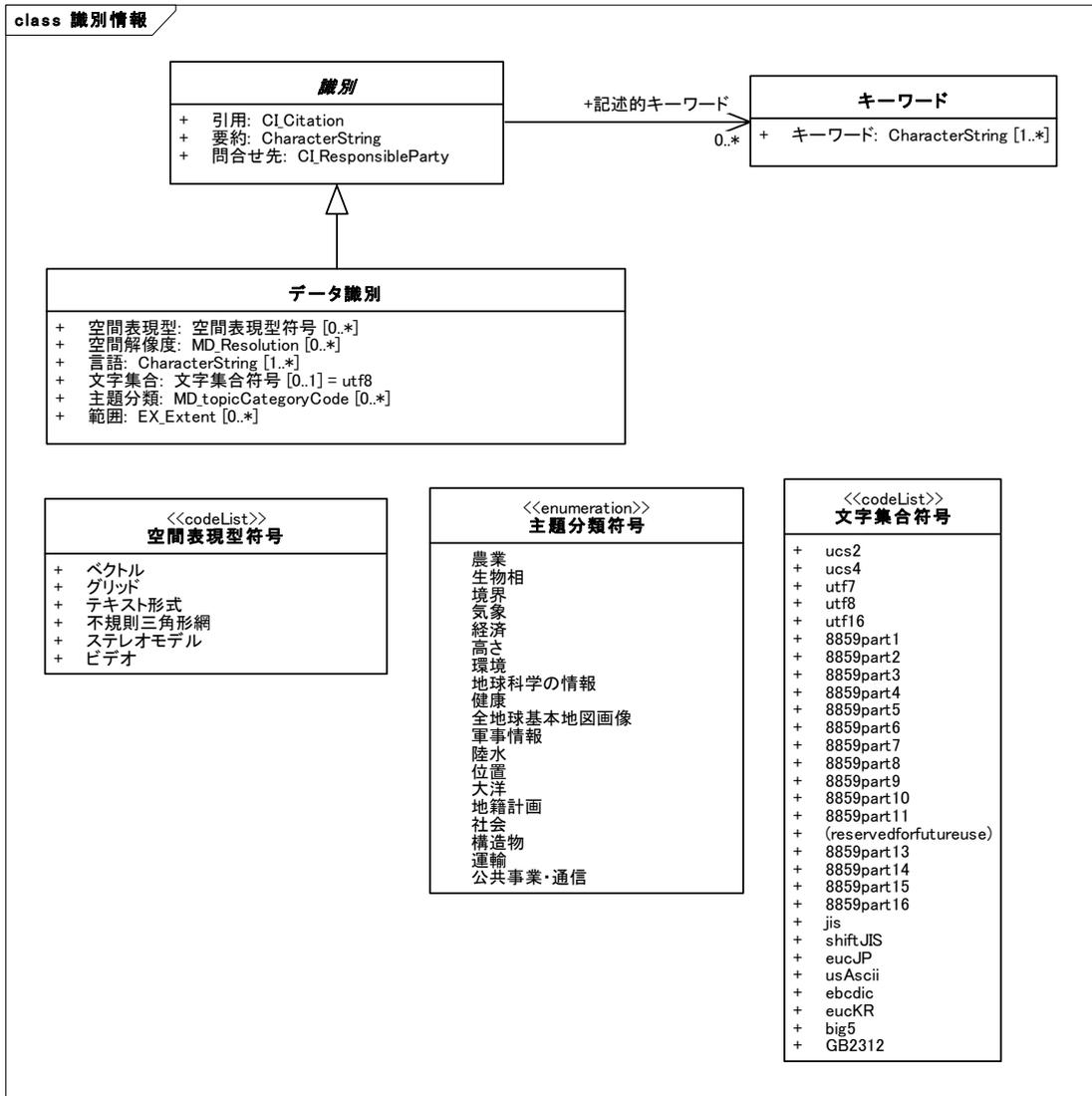
各メタデータ項目は、情報同士の関係及び構成を表現するために階層化されている。階層化の構造は、ISO19115 に準拠する。詳細を、2 UML モデル及び3 データ辞書に示す。

2 UML データモデル

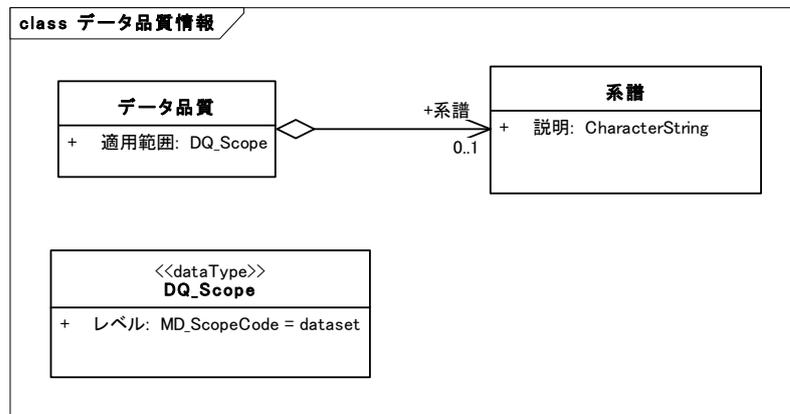
2-1 メタデータ構成集合情報



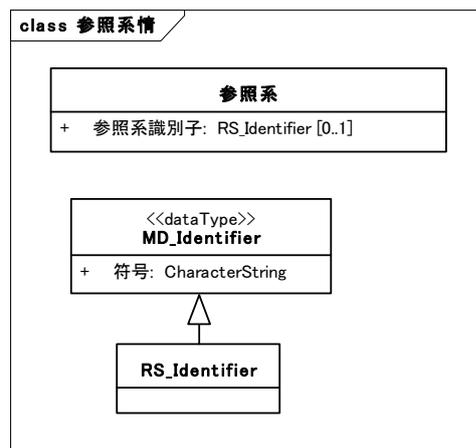
2-2 識別情報



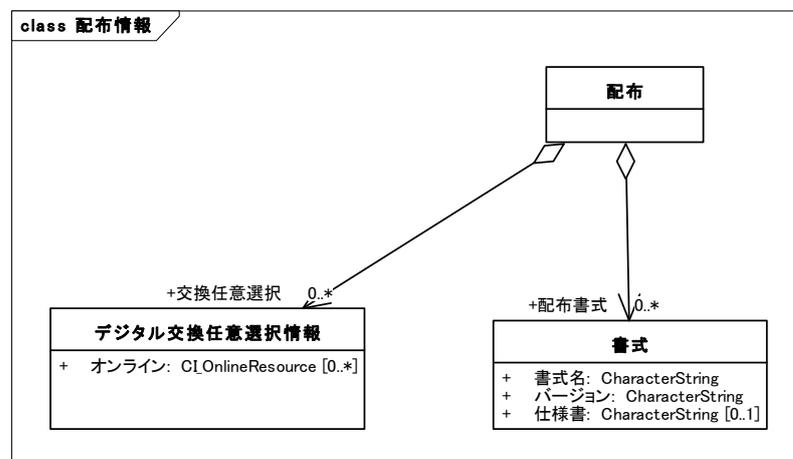
2-3 データ品質情報



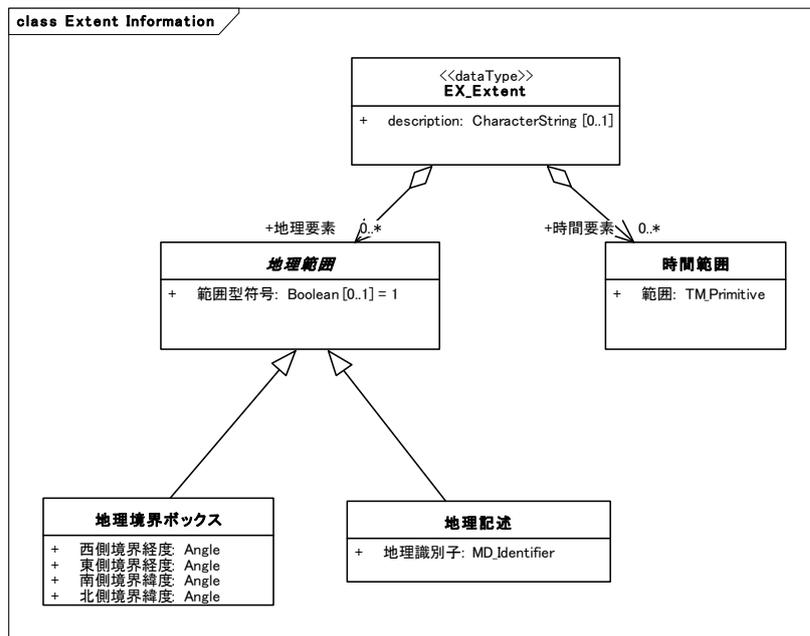
2-4 参照系情報



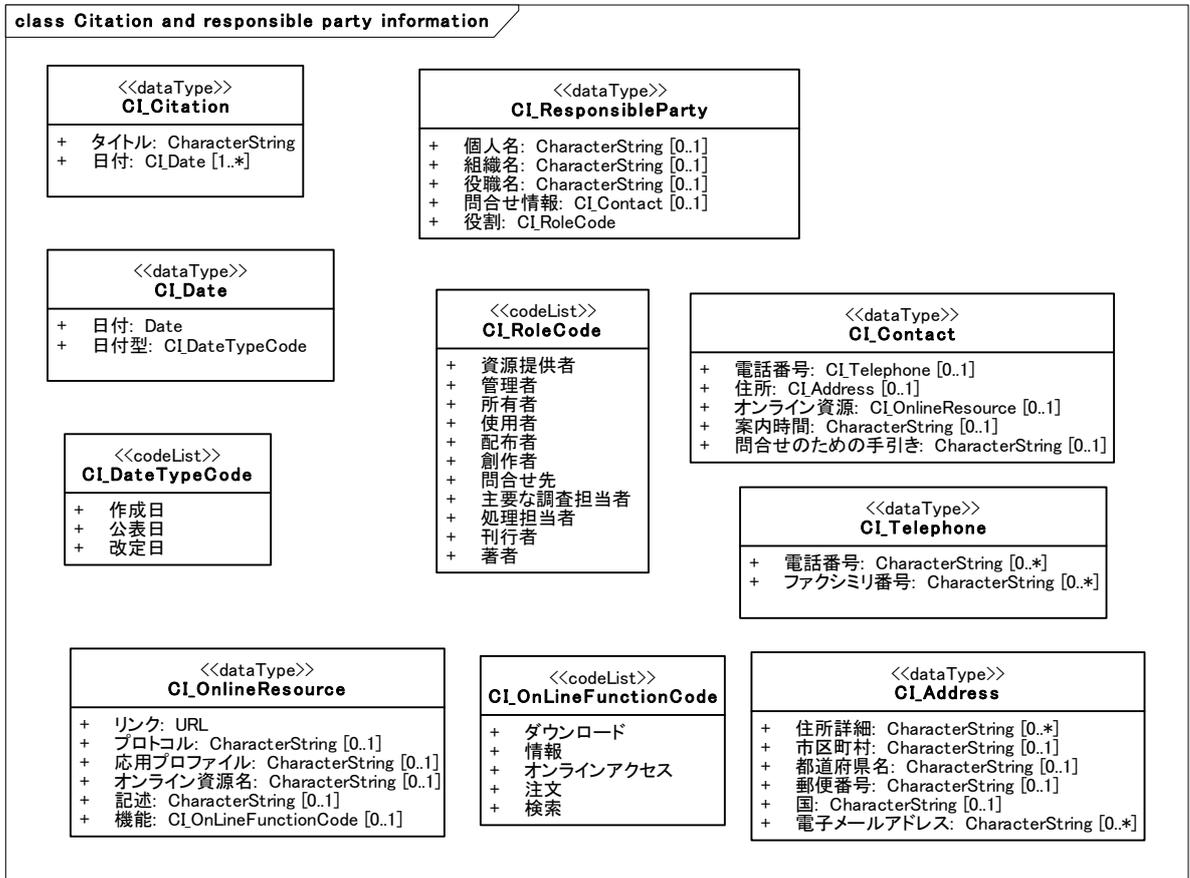
2-5 配布情報



2-6 範囲情報



2-7 引用及び責任者情報



3 データ辞書

以降に示すデータ辞書は、災害リスク情報メタデータ仕様プロファイルで使用する項目を ISO19115 から引用したものである。一部のメタデータ項目については定義域を拡張しており、赤字で示している。

3-1 メタデータ構成集合パッケージ

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
1	MD_Metadata メタデータ	一つ以上の資源に関するメタデータを定義する基本要素体	M	1	クラス	行 2-22
2	fileIdentifier ファイル識別子	このメタデータファイルの一意な識別子	O	1	文字列	自由記述
3	language 言語	メタデータの記述に使用する言語	C: 実装時に使用する符号化規格によって定義しない場合	1	文字列	ISO 639-2, 他の部を使ってもよい。
4	characterSet 文字集合	メタデータ集合に使用する JIS 文字符号規格の完全な名称	C: JIS X 0221-1 を使用せず、かつ、実装時に使用する符号化規格によって定義しない場合	1	クラス	《CodeList》 MD_CharacterSetCode
8	contact 問合せ先	メタデータ情報の責任者	M	N	クラス	《DataType》 CI_ResponsibleParty
9	dateStamp 日付	メタデータを作成した日付	M	1	クラス	Date
10	metadataStandardName メタデータ規格の名称	使用するメタデータ規格の名称（プロファイルの名称を含む）	O	1	文字列	自由記述

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
11	metadataStandardVersion メタデータ規格のバージョン	使用するメタデータ規格の版（プロファイルのバージョン）	O	1	文字列	自由記述
13	役割名: referenceSystemInfo 参照系情報	データ集合で使用している空間及び時間参照系の記述	O	N	関連	MD_ReferenceSystem
15	役割名: identificationInfo 識別情報	メタデータを適用する一つ以上の資源についての基本情報	M	N	関連	《Abstract》 MD_Identification
17	役割名: distributionInfo 配布情報	一つ以上の資源を得るための配布者に関する情報を示す。	O	1	関連	MD_Distribution
18	役割名: dataQualityInfo データ品質情報	一つ以上の資源に関して品質の一般的な評価を示す。	O	N	関連	DQ_DataQuality

3-2 識別情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
23	MD_Identification 識別	一つ以上の資源を一意に識別するために要求する基本情報	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 Abstract 》 (MD_Metadata)に 集成するクラス	行 24-35.1
24	citation 引用	一つ以上の資源の引用データ	M	1	クラス	《DataType》 CI_Citation

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
25	abstract 要約	一つ以上の資源の内容の簡潔な要約	M	1	文字列	自由記述
29	pointOfContact 問合せ先	一つ以上の資源に関連する人及び組織への連絡のための識別情報及び手段	O	N	クラス	《DataType》 CI_ResponsibleParty
33	役割名: descriptiveKeywords 記述的キーワード	分類のキーワード, その型及び参照する情報源を示す。	O	N	関連	MD_Keywords
36	MD_DataIdentification データ識別	データ集合の識別のために要求する情報	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Identification)の特化クラス	行 37-46 及び 24-35.1
37	spatialRepresentationType 空間表現型	地理情報の空間表現に使用する方法	O	N	クラス	《CodeList》 MD_SpatialRepresentationTypeCode
38	spatialResolution 空間解像度	データ集合中の空間データの密度に関する一般的な理解を示す要素	O	N	クラス	《Union》 MD_Resolution
39	language 言語	データ集合内で使用する一つ以上の言語	M	N	文字列	ISO 639-2, 他のパートを使ってもよい。
40	characterSet 文字集合	データ集合に使用する文字符号規格の完全な名称	C: JIS X 0221-1 を使用しない場合	N	クラス	《CodeList》 MD_CharacterSetCode

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
41	topicCategory 主題分類	データ集合の一つ以上の主題	C: hierarchyLevel がデータ集合になる場合	N	クラス	《Enumeration》 MD_TopicCategoryCode
45	extent 範囲	データ集合の境界ボックス, 境界ポリゴン, 鉛直及び時間範囲に関する範囲情報	C: hierarchyLevel がデータ集合であれば, extent.geographicElement. EX_GeographicBoundingBox 又は extent.geographicElement. EX_GeographicDescription のいずれかが必要	N	クラス	《DataType》 EX_Extent
52	MD_Keywords キーワード	キーワード, その型及びその参照する情報源	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Identifier)に集成するクラス	行 53-55
53	keyword キーワード	主題の記述に使用する, 共通に使用する言葉, 公認の言葉又は語句	M	N	文字列	自由記述 ただし、災害の種類を特定するために、次のいずれかのキーワードを含むこと。 “地震”、“洪水”、“土砂災害”、“道路交通公共機関被害”

3-3 データ品質情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
--	--------	----	--------	--------	------	-----

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
78	DQ_DataQuality データ品質	データ品質適用範囲によって規定したデータの品質情報	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Metadata)に 集成するクラス	行 79-81
79	scope 適用範囲	データ品質情報を適用するために規定したデータ	M	1	クラス	《DataType》 DQ_Scope
81	役割名:lineage 系譜	適用範囲によって規定したデータの系譜についての非定量的品質情報	C: report を提示しない場合	1	関連	LI_Lineage
82	LI_Lineage 系譜	適用範囲によって規定したデータを構築する際に使用した事象、元情報についての情報又は系譜に関する知識の不足についての情報	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	(DQ_DataQuality)に 集成するクラス	行 83-85
83	statement 説明	データ集合の系譜に関する作成者の知見の一般的説明	C: DQ_DataQuality.scope.DQ_Scope.level が dataset 又は series になる場合	1	文字列	自由記述 ただし、リスク情報の算定方法や利用したデータ等の情報は、データの品質を推測するための重要な情報となることから、データの作成過程や元データに関する情報を記述するものとする。 ex. “〇〇リスク情報作成マニュアルを参照”。

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
138	DQ_Scope データ品質適用範囲	品質情報を報告した、データのプロパティの範囲	参照元の要求度を使用	参照元の最大出現回数を使用	《DataType》 クラス	行 139-141
139	level レベル	適用範囲で規定するデータの階層レベル	M	1	クラス	“データ集合”

3-4 参照系情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
186	MD_ReferenceSystem 参照系	参照系についての情報	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Metadata) に 集成するクラス	行 187
187	referenceSystemIdentifier 参照系識別子	参照系の名称	C : MD_CRS.projection, MD_CRS.ellipsoid 又は MD_CRS.datum のいずれ も記入しない場合	1	クラス	RS_Identifier
205	MD_Identifier 識別子	名前空間において一意の符号値を与えるクラス	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	クラス 《DataType》	行 206-207
207	code 符号	名前空間のインスタンスを識別する文字の値	M	1	文字列	自由記述
208	RS_Identifier 参照系識別子	参照系に使用する識別子	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Identifier) の 特化クラス	行 206-207 及び 208.1-208.2

3-5 配布情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
270	MD_Distribution 配布	配布者及び資源を得るための、任意選択に関する情報	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Metadata) に 集成するクラス	行 271-273
271	役割名: distributionFormat 配布書式	配布するデータの書式の記述を示す。	C: MD_Distributor.distributorFormat を記述しない場合	N	関連	MD_Format
273	役割名: transferOptions 交換任意選択	資源を配布者から得るための技術的な手段及び媒体に関する情報を示す。	O	N	関連	MD_DigitalTransferOptions
274	MD_DigitalTransferOptions デジタル交換任意選択	資源を配布者から得る場合の技術的手段及び媒体	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Distribution) に 集成するクラス (MD_Distributor) に 集成するクラス	行 275-278
277	online オンライン	入手できる資源のオンライン情報源に関する情報	O	N	クラス	《DataType》 CI_OnlineResource
284	MD_Format 書式	レコード、ファイル、メッセージ、記憶装置又は通信チャネル中におけるデータオブジェクトの表現を示す、コンピュータ言語構文の記述	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(MD_Distribution, MD_Identification 及び MD_Distributor) に 集成するクラス	行 285-290
285	name 書式名	データ交換書式の名称	M	1	文字列	自由記述
286	version バージョン	書式のバージョン (日付、番号など)	M	1	文字列	自由記述

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
288	specification 仕様書	書式の部分集合、プロファイル又は製品仕様書の名称	O	1	文字列	自由記述 仕様書が公開されているURLを含んでもよい。

3-6 範囲情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
334	EX_Extent 範囲	水平、鉛直及び時間範囲についての情報	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 335-338
335	description 記述	参照する対象の範囲	C : GeographicElement , temporalElement 及び verticalElement を記述しない場合	1	文字列	自由記述
336	役割名: GeographicElement 地理要素	参照する対象の範囲の水平成分を示す。	C : description, temporalElement 及び verticalElement を記述しない場合	N	関連	《Abstract》 EX_ Geographic Extent
337	役割名: temporalElement 時間要素	参照する対象の範囲の時間成分を示す。	C : description, Geographic Element 及び verticalElement を記述しない場合	N	関連	EX_TemporalExtent

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
339	EX_GeographicExtent 地理範囲	データ集合の水平範囲	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《Abstract》 (EX_Extent)に集成するクラス (EX_SpatialTemporalExtent)に集成するクラス	行 340
340	extentTypeCode 範囲型符号	境界多角形は、データが覆う領域を包囲するのか、データがない領域を包囲するのかの指示	O	1	ブール値	0 - 外部 (データを含まない) 1 - 内部 (データを含む)
343	EX_GeographicBoundingBox 地理境界ボックス	データ集合の地理的位置 備考 これは概略の参照のためのものであり、座標参照系の指定は必要がない。	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(EX_GeographicExtent) の特化クラス	行 344-347 及び 340
344	westBoundLongitude 西側境界経度	東をプラスとした十進角による経度で表すデータ集合の最西端座標	M	1	クラス	Angle -180.0 以上, 180.0 以下の西側境界経度
345	eastBoundLongitude 東側境界経度	東をプラスとした十進角による経度で表すデータ集合の最東端座標	M	1	クラス	Angle -180.0 以上, 180.0 以下の東側境界経度
346	southBoundLatitude 南側境界緯度	北をプラスとした十進角による緯度で表すデータ集合の最南端座標	M	1	クラス	Angle -90.0 以上, 90.0 以下の南側境界緯度 南側境界緯度<=北側境界緯度

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
347	northBoundLatitude 北側境界緯度	北をプラスとした十進角による緯度で表すデータ集合の最北端座標	M	1	クラス	Angle -90.0 以上, 90.0 以下の南側境界緯度 南側境界緯度<=北側境界緯度
348	EX_GeographicDescription 地理記述	識別子を用いた地理的な場所の記述	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(EX_GeographicExtent) の特化クラス	行 349 及び 340
349	geographicIdentifier 地理識別子	地理的な場所を表現するための識別子	M	1	クラス	MD_Identifier
350	EX_TemporalExtent 時間範囲	データ集合の内容がカバーする期間	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	(EX_Extent) に集	成するクラス 行 351
351	extent 範囲	データ集合の内容の日付と時間	M	1	クラス	TM_Primitive

3-7 引用及び責任者情報

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
359	CI_Citation 引用	資源への規格化した参照	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 360-373
360	title タイトル	引用している資源を示す名称	M	1	文字列	自由記述
362	date 日付	引用している資源を参照した参照日	M	N	クラス	《DataType》 CI_Date

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
374	CI_ResponsibleParty 責任者	データ集合に関連した人と組織の識別情報及び人と組織への連絡の手段	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 375-379
375	individualName 個人名	区切り符号によって区切る, 責任をもつ個人の苗字, 名前, 肩書	C: 組織名及び役職名を記述しない場合	1	文字列	自由記述
376	organisationName 組織名	責任をもつ組織の名称	C: 個人名及び役職名を記述しない場合	1	文字列	自由記述
377	positionName 役職名	責任をもつ個人の役割又は役職	C: 個人名及び組織名を記述しない場合	1	文字列	自由記述
378	contactInfo 問合せ情報	責任者の住所	O	1	クラス	《 DataType 》 CI_Contact
379	role 役割	責任者の果たす機能	M	1	クラス	《 CodeList 》 CI_RoleCode
380	CI_Address 住所	責任をもつ個人又は組織の場所	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 381-386
381	deliveryPoint 住所詳細	場所を示す住所 (ISO 11180, 附属書 A に記載しているように)	O	N	文字列	自由記述
382	city 市区町村	場所の市区町村名称	O	1	文字列	自由記述
383	administrativeArea 都道府県名	場所の都道府県及び郡の名称	O	1	文字列	自由記述

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
384	postalCode 郵便番号	郵便番号	O	1	文字列	自由記述
385	country 国	住所の国名	O	1	文字列	ISO 3166-3, その他の部を使ってもよい
386	electronicMailAddress 電子メールアドレス	責任をもつ組織又は個人の電子メールアドレス	O	N	文字列	自由記述
387	CI_Contact 問合せ	責任をもつ個人及び／又は組織に問合せすることを可能とする情報	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《DataType》 クラス	行 388-392
388	phone 電話番号	問合せ先となる組織又は個人の電話番号	O	1	クラス	《DataType》 CI_Telephone
389	address 住所	問合せ先となる組織又は個人の住所及び電子メールアドレス	O	1	クラス	《DataType》 CI_Address
390	onlineResource オンライン資源	個人又は組織への問合せに使用するオンライン情報	O	N	クラス	《DataType》 CI_OnlineResource
391	hoursOfService 案内時間	個人が、組織又は個人に問合せることができる時間（時間帯を含む）	O	1	文字列	自由記述
392	contactInstructions 問合せのための手引き	個人又は組織への問合せのための補足的な手引き	O	1	文字列	自由記述

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
393	CI_Date 引用日付	参照用の日付及びその記述に使用する事象	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 394-395
394	date 日付	引用する資源の参照用の日付	M	1	クラス	Date
395	dateType 日付型	参照日の日付に使用する事象	M	1	クラス	《 CodeList 》 CI_DateTypeCode
396	CI_OnlineResource オンライン情報資源	データ集合、仕様又は分野別のプロファイル名称及び拡張メタデータ要素の入手を可能にするオンライン資源に関する情報	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 397-402
397	linkage リンク	http://www.statkart.no/isotc211 のようなユニフォームリソースロケータ (URL) 又は類似のアドレス指定体系によるオンラインアクセス用の所在 (住所)	M	1	クラス	URL (IETF RFC1738 IETF RFC 2056)
398	protocol プロトコル	接続に使用するプロトコル	O	1	文字列	自由記述
399	applicationProfile 応用プロファイル	オンライン資源とともに使用することができる応用プロファイルの名称	O	1	文字列	自由記述
400	name オンライン資源名	オンライン資源の名称	O	1	文字列	自由記述
401	description 記述	オンライン資源が何か, 又は何をするか の記述	O	1	文字列	自由記述
402	function 機能	オンライン資源が実行する機能の符号	O	1	クラス	《 CodeList 》 CI_OnlineFunctionCode

	名称・役割名	定義	要求度・条件	最大出現回数	データ型	定義域
407	CI_Telephone 電話	責任をもつ個人又は組織に問合せをするための電話番号	参照元の要求度・条件を使用	参照元の最大出現回数を使用	《 DataType 》 クラス	行 408-409
408	voice 電話番号	個人が、責任をもつ個人又は組織と話ができるようにするための電話番号	O	N	文字列	自由記述
409	facsimile ファクシミリ番号	責任をもつ個人又は組織のファクシミリ番号	O	N	文字列	自由記述

3-8 コードリスト及び列挙

3-8-1 日付型符号 (CI_DateTypeCode)

	名称	定義域符号	定義
1	CI_DateTypeCode データ型符号	DateTypCd	イベントが発生したときにかかわる識別情報
2	creation 作成日	001	資源を作成した日付を示す識別情報
3	publication 公表日	002	資源を公表した日付を示す識別情報
4	revision 改定日	003	資源を調査又は再調査及び改定又は修正した日付を示す識別情報

3-8-2 オンライン機能符号 (CI_OnLineFunctionCode)

	名称	定義域符号	定義
1	CI_OnlineFunctionCode オンライン機能符号	OnFuncCd	資源が実行する機能
2	download ダウンロード	001	一つの記憶装置又はシステムから別のものにデータを転送するためのオンライン命令
3	information 情報	002	資源に関するオンライン情報
4	offlineAccess オフラインアクセス	003	資源を提供者に求めるためのオフライン命令
5	order 注文	004	資源を得るためのオンライン上での注文方法
6	search 検索	005	資源に関する情報を捜し出すためのオンライン検索インタフェース

3-8-3 役割符号 (CI_RoleCode)

	名称	定義域符号	定義
1.	CI_RoleCode 役割符号	RoleCd	責任者が実行する機能
2.	resourceProvider 資源提供者	001	資源を供給する団体
3.	custodian 管理者	002	データに対する説明責任及び管理責任を負い、資源の適切な管理及び保守を保証する団体
4.	owner 所有者	003	資源を所有する団体
5.	user 使用者	004	資源を使用する団体
6.	distributor 配布者	005	資源を配布する団体
7.	originator 創作者	006	資源を作成した団体
8.	pointOfContact 問合せ先	007	資源を得るため又はその知識を得るための問合せを可能とする団体

	名称	定義域符号	定義
9.	principalInvestigator 主要な調査担当者	008	情報を集め、調査の指揮をとる主要な責任団体
10.	processor 処理担当者	009	資源を修正するなどのデータを処理する団体
11.	publisher 刊行者	010	資源を刊行した団体
12.	author 著者	011	資源を執筆した団体

3-8-4 文字集合符号

	名称	定義域符号	定義
1.	MD_CharacterSetCode 文字集合符号	CharSetCd	資源のために使用する文字符号の標準の名称
2.	ucs2	001	JIS X 0221 に基づく16ビット固定長の国際的な文字集合
3.	ucs4	002	JIS X 0221 に基づく32ビット固定長の国際的な文字集合
4.	utf7	003	JIS X 0221 に基づく7ビット可変長のUCS転送書式
5.	utf8	004	JIS X 0221 に基づく8ビット可変長のUCS転送書式
6.	utf16	005	JIS X 0221 に基づく16ビット可変長のUCS転送書式
7.	8859part1	006	ISO/IEC 8859-1 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第1部：ラテンアルファベット No.1
8.	8859part2	007	ISO/IEC 8859-2 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第2部：ラテンアルファベット No.2
9.	8859part3	008	ISO/IEC 8859-3 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第3部：ラテンアルファベット No.3
10.	8859part4	009	ISO/IEC 8859-4 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第4部：ラテンアルファベット No.4
11.	8859part5	010	ISO/IEC 8859-5 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第5部：ラテン/キリル文字アルファベット
12.	8859part6	011	ISO/IEC 8859-6 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第6部：ラテン/アラビア文字アルファベット
13.	8859part7	012	ISO/IEC 8859-7 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第7部：ラテン/ギリシャ文字アルファベット
14.	8859part8	013	ISO/IEC 8859-8 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 — 第8部：ラテン/ヘブライ文字アルファベット

	名称	定義域符号	定義
15.	8859part9	014	ISO/IEC 8859-9 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第9部:ラテンアルファベット No.5
16.	8859part10	015	ISO/IEC 8859-10 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第10部:ラテンアルファベット No.6
17.	8859part11	016	ISO/IEC 8859-11 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第11部:ラテン/タイ文字アルファベット
18.	(将来の使用のために予約)	017	将来の ISO/IEC 8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 (例えば、ISO/IEC 8859-12 になる可能性あり)
19.	8859part13	018	ISO/IEC 8859-13 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第13部:ラテンアルファベット No.7
20.	8859part14	019	ISO/IEC 8859-14 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第14部:ラテンアルファベット No.8 (ケルト語)
21.	8859part15	020	ISO/IEC 8859-15 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第15部:ラテンアルファベット No.9
22.	8859part16	021	ISO/IEC 8859-16 の、8ビットシングルバイト符号化したグラフィック文字集合 - 第16部:ラテンアルファベット No.10
23.	jjs	022	電子伝送のために使用する日本文字の符号集合
24.	shiftJIS	023	MS-DOS マシンに使用する日本文字の符号集合
25.	eucJP	024	UNIX マシンに使用する日本文字の符号集合
26.	usAscii	025	アメリカ合衆国の ASCII 符号集合 (ISO/IEC 646 IRV)
27.	ebedic	026	IBM メインフレームの符号集合
28.	eucKR	027	韓国文字の符号集合
29.	big5	028	台湾、香港及びその他の地域で使用する伝統的な中国文字の符号集合
30.	GB2312	029	簡易中国文字の符号集合

3-8-5 空間表現型符号

	名称	定義域符号	定義
1.	MD_SpatialRepresentationTypeCode 空間表現型符号	SpatRepTypCd	データ集合で地理情報を表現するための方法
2.	vector ベクトル	001	地理データを表現するために使用するベクトルデータ
3.	grid グリッド	002	地理データを表現するために使用するグリッドデータ
4.	textTable テキスト表形式	003	地理データを表現するために使用するテキスト又は表形式のデータ
5.	tin 不規則三角形網	004	不規則三角形ネットワーク

	名称	定義域符号	定義
6.	stereoModel ステレオモデル	005	重複させた一対の画像上で交差する光線によって形成する三次元の像
7.	video ビデオ	006	ビデオ録画による場面

3-8-6 主題分類符号

	名称	定義域符号	定義
1.	MD_TopicCategoryCode 主題分類符号	TopicCatCd	使用可能な地理データ集合の検索及び分類を補助する、地理データの高レベルの主題分類法。キーワードを分類するためにも使用する。ただし、ここで次に示すリスト中の例は完全ではない。 備考 一般的なカテゴリ間には重複があり、使用者は最も適切なものを選択することを推奨する。
2.	farming 農業	001	家畜の飼育及び／又は作物の栽培 例：農業、灌漑、水産養殖、大農園、牧畜、作物及び家畜に影響を及ぼす病気及び害虫
3.	biota 生物相	002	自然環境における植物相及び／又は動物相 例：野生生物、植物、生物科学、生態学、荒野、海洋生物、湿地帯、生息地
4.	boundaries 境界	003	法律上の土地の境の記述 例：政治及び行政上の境界
5.	climatologyMeteorologyAtmosphere 気象	004	大気的作用及び現象 例：雲量、天候、気候、大気の状態、気候変化、降水量
6.	economy 経済	005	経済活動、状態及び雇用 例：生産、労働、収入、商業、産業、観光旅行及びエコツーリズム、林業、水産業、貿易、商業又は生存のための狩猟、鉱物、石油及び天然ガスのような資源の調査及び開発
7.	elevation 高さ	006	海面から上の又は下の高さ 例：高度、水深測量、デジタル標高モデル、斜面、これらから派生した製品
8.	environment 環境	007	環境資源、環境保護及び環境保存 例：環境汚染、廃棄物の保管及び処理、環境影響評価、環境に対する危険の監視、自然保護地、風景
9.	geoscientificInformation 地球科学の情報	008	地球科学と関係がある情報 例：地球物理学の地物と作用、地質学、鉱物資源、組成学、岩盤組成と起源、地震の危機、火山活動、地滑り、重力情報、土壌、永久凍土、水理地質学、浸食
10.	health 健康	009	健康、保健サービス、人類生態学及び安全 例：病気と疾病、健康に影響を及ぼす原因、衛生、薬物乱用、精神的及び物理的な健康、保健サービス
11.	imageryBaseMapsEarthCover 全地球基本地図画像	010	基本図 例：土地被覆、地形図、イメージ、分類していない画像、注記
12.	intelligenceMilitary 軍事情報	011	軍事基地、軍用構造物、軍事活動 例：兵舎、訓練施設、軍事輸送、情報収集

	名称	定義域符号	定義
13.	inlandWaters 陸水	012	陸水地物，下水システム及びそれらの特性 例：河川及び氷河，塩湖，水利用計画，ダム，水流，洪水，水質，水路図
14.	location 位置	013	位置情報及びサービス 例：住所，測地網，基準点，郵便区分及びサービス，地名
15.	oceans 大洋	014	塩水の地物及び特性（陸水を除く） 例：潮流，津波，海岸の情報，礁
16.	planningCadastre 地籍計画	015	将来の土地利用のための適切な活動に使用する情報 例：土地利用図，用途地域図，地籍調査，土地所有
17.	society 社会	016	社会及び文化の特性 例：移民，人類学，考古学，教育，伝統的な信仰，作法と習慣，人口統計データ，レクリエーションの場所と活動，社会影響の評価，犯罪と司法，国勢調査情報
18.	structure 構造物	017	人工構造物 例：ビルディング，博物館，教会，工場，家，記念碑，店，塔
19.	transportation 運輸	018	人及び／又は物を運ぶための方法及び仕組み 例：道路，空港／滑走路，航路，トンネル，航路図，乗物又は船の位置，航空図，鉄道
20.	utilitiesCommunication 公共事業・通信	019	エネルギー，上下水道，並びに通信インフラ及びサービス 例：水力発電，地熱発電，太陽及び原子力，水質浄化及び配水，汚水収集及び処理，電気及びガスの供給，データ通信，遠距離通信，ラジオ，通信ネットワーク

4 メタデータ実装仕様

ISO19139 (Geographic information -Metadata – XML schema implementation) を使用する。

■名前空間 : <http://www.isotc211.org/2005/gmd/>